

5A

(株) Eye'll take care !

第1回 IRレポート 6月26日付

-目次-

P3

社長挨拶

P12

活動報告

P4

問題提起

P13

プレゼン結果

P7

企業理念

P15

販売について(予定)

P8

活動の方針

P16

今後の予定

P2

-社長挨拶-

こんにちは。株式会社Eye'll take care！社長の小田彩音です。

この社名にはI'll take careとEyeがかけられています。

その名の通り、この会社を通して、皆様に眼を意識して健康的な生活を送るきっかけを提供できれば幸いです。

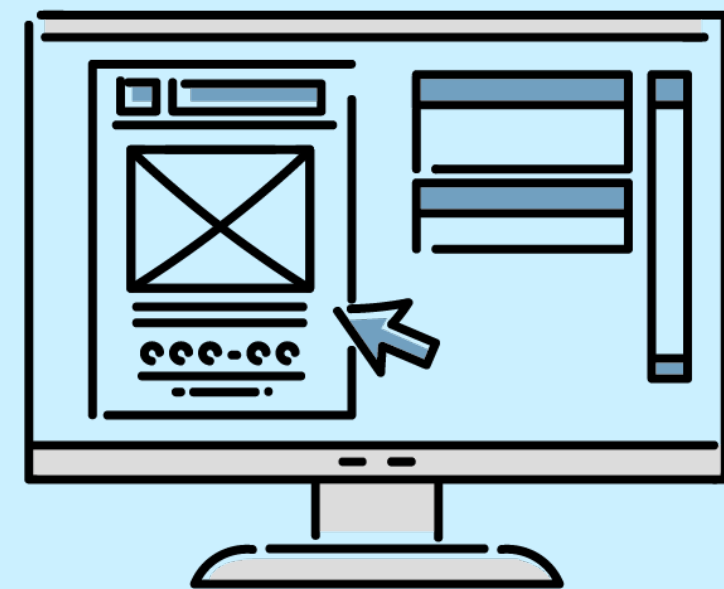
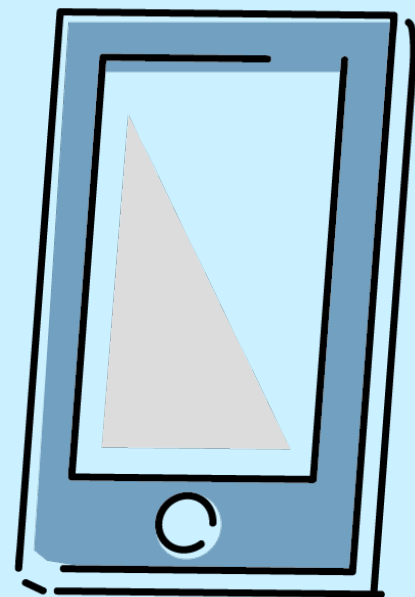
社員一同頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

-問題提起-

皆さんは視力低下について考えたことはありますか？

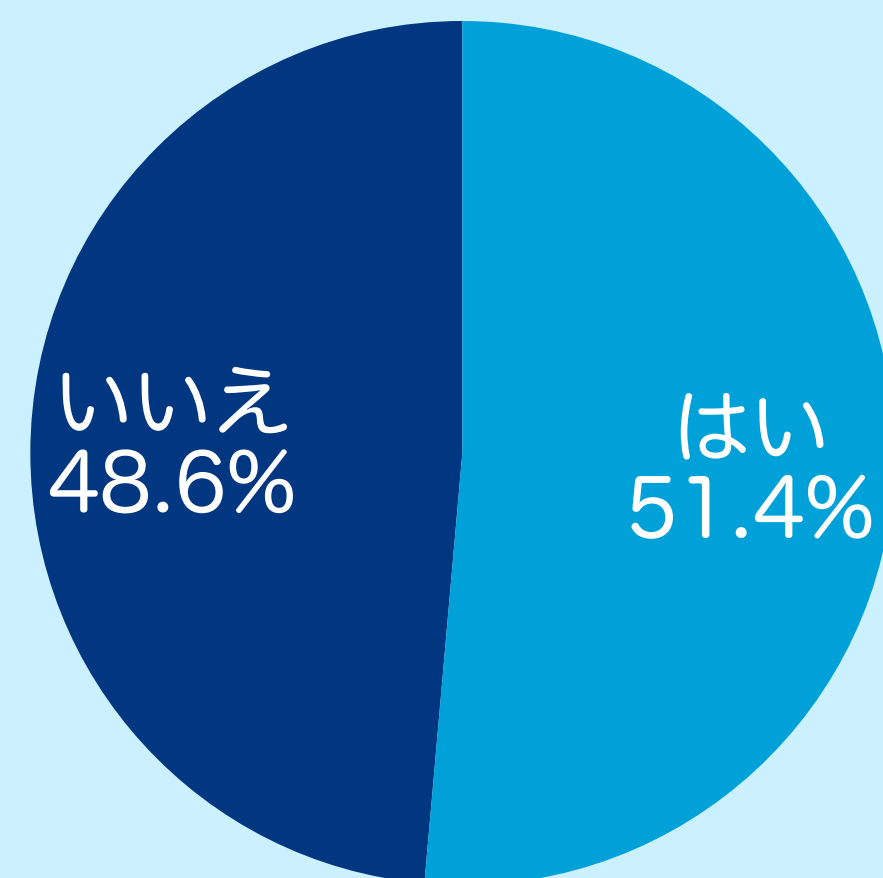
私たちの班では品女に入ってから、また、昨年度のリモート期間で視力低下を感じた班員が過半数を超えていました。

子供たちだけでなく、大人もコロナ禍でテレワークなどが増え、電子機器などの使用時間が増え視力低下を感じている人も多いのではないのでしょうか。

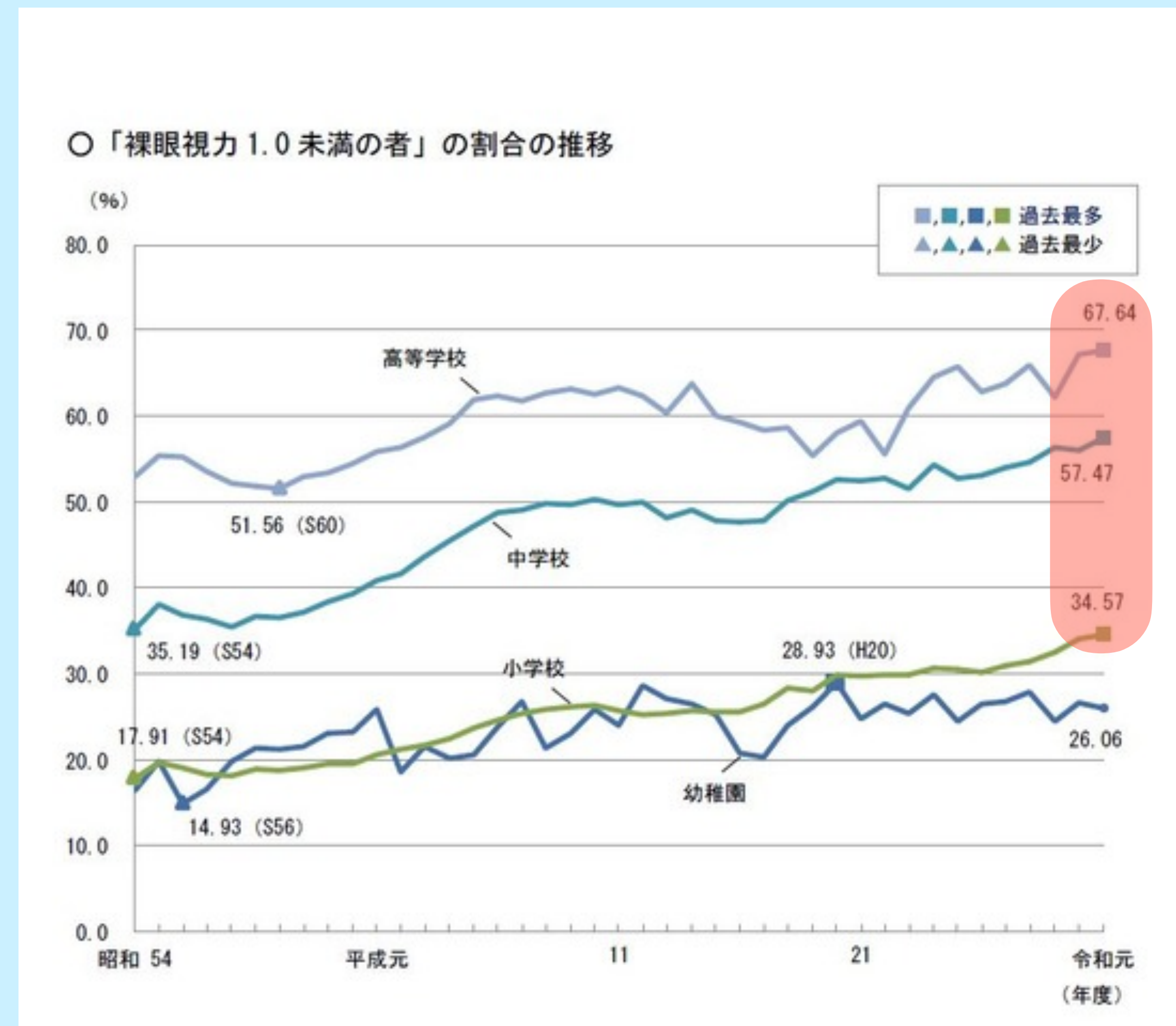
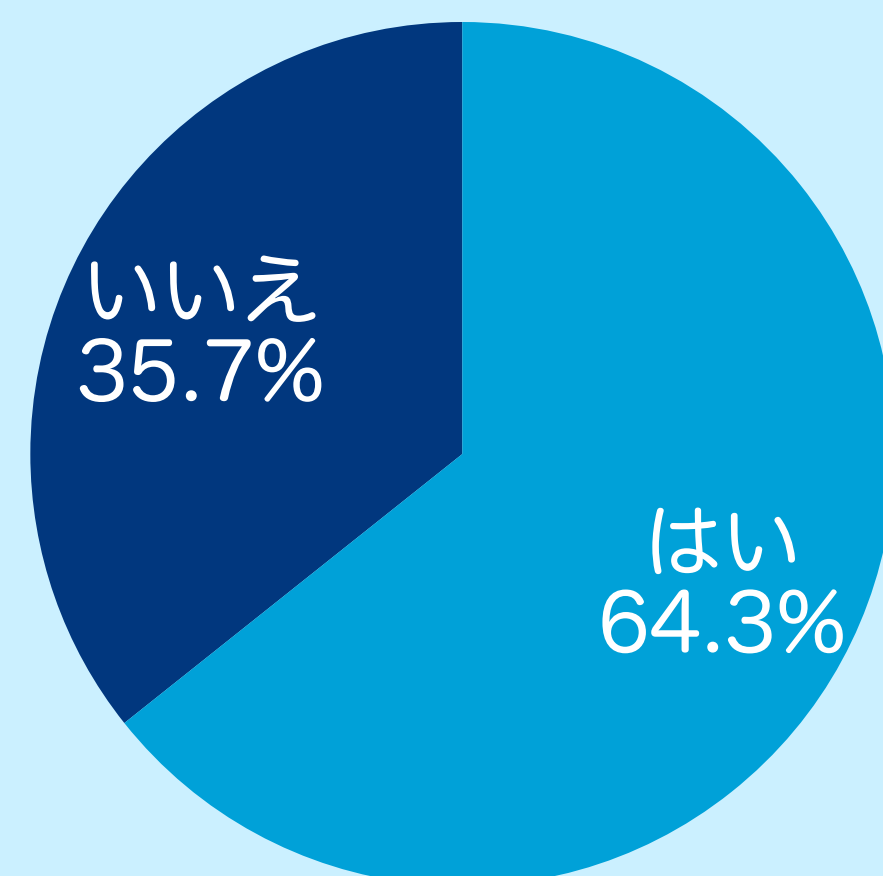


そこで、私たち以外にも視力低下を感じている人がいるのではないかと思います、アンケートをとりました。

視力矯正をしていますか？
(294人の回答)



目が悪くなったと感じた
ことはありますか？
(143人の回答)



出典：文部科学省 2019年度（令和元年度）
学校保健統計調査（速報値）2019年12月20日

私たちは視力低下は日本の社会問題なのではないかと考え、それらを踏まえた上で自分たちが眼に対する意識を変えるきっかけになりたい！と考えました。



-企業理念-

『一生とともに生きる目。将来の自分や大切な家族の
視力のために、目を意識して
健康的な生活を送るきっかけを提供します。』

目の健康を自ら、また、家族や周りの人と一緒に
考えて行動をおこせるようなきっかけとなる
企画にしたいと考えています。

-活動の方針-

知る

守る

アクションを
起こす



今後、視力低下について大きく3つに分けて活動していきます。

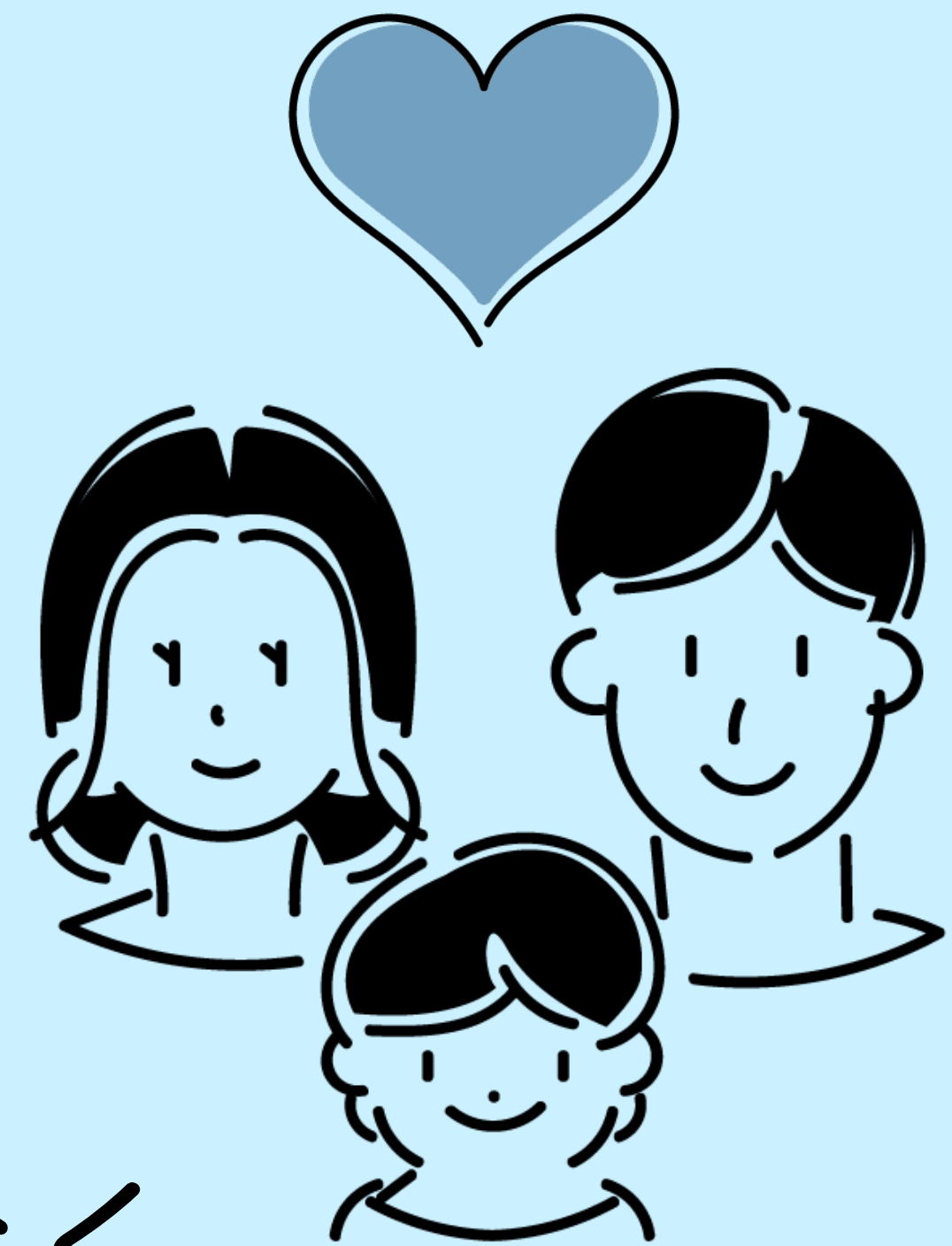
P8

知る



主に視力低下の仕組みや原因、また、住環境や
家庭環境といった点からも視力低下について
考察していきます。

守る



「守る」というのは、「自分」だけではなく
「自分の周りの大切な人や家族」を守ります。
視力低下に関する悩みや関心から守ったり、
正しい視力矯正の方法で守ります。

アクションを 起こす



主に、

- 視力回復に効果があると言われているガボール・アイを体験
- 毛様体筋のトレーニングを実践
- 日常生活において、私たちが工夫できることなどを実験して提案
- 未就学児や、その周りの大人に向けた啓蒙活動

などを行おうと思っています。

-活動報告-

5月

問題提起、企業理念、商品サービス、方向性についての話し合い

6月

6/4 第一回企画書提出

6/16 事業計画書、プレゼン資料提出

6/23 起業体験プレゼン

その他(実施済み)

校内アンケートの実施、社名・カラーイメージの決定、

取材先への企画書提出

-プレゼン結果-

理念性	66
貢献性	60
チャレンジ性	57
事業性	46
実行性	49

● 事業性

自分では知ることの出来ない情報を提供することで他クラスとの差別化をしたいと思います。

● 実行性

目の仕組みや視力低下について自分たちで学んだ上で顧客に眼に対する意識を高めるきっかけを提供したいと思います。

● なぜ商品の販売ではなく、入場料をとるのか？

始めはアイマスクを売る予定でしたが、アイマスクだと「自ら考えて行動を起こす」という理念の達成と繋がらないため変更しました。
また、視力低下の原因や、自分では知ることのできない情報の提供により他クラスとの差別化をしています。

● 眼科医の先生の滞在時間はどのくらいになるのか？ 謝礼を支払っても利益は出るのか？

滞在時間やお金の発生については、これから相談していきます。

-販売について(予定)-

販売物はありません。「モノ売り」ではなく「コト売り」
として来場者からお金をいただきます。

- ・ 入場料：150円
目の体操やガボールアイなどの体験
- ・ 入場料＋眼科医への相談室：350円

-今後の予定-

夏休み

- ・「眼育さばえプロジェクト」を行なっている 福井県鯖江市
 - ・福岡大学医学部医学部眼科学教室 内尾英一先生
 - ・慶應義塾大学医学部眼科学教室 鳥居秀成先生
- へ取材
- ・視力低下前、矯正後の人達へ意識と予防の普及
 - ・未就学児に向けた啓蒙活動

7～8月

目の仕組みや視力低下について自分たちで学ぶ